

海岸防災林再生セミナーを開催しました

(公社)福島県森林・林業・緑化協会



セミナー看板



全体の様子（講演会）

平成27年11月13日（金）、東日本大震災で発生した津波によって流失した海岸防災林の再生には長い年月がかかるため、地域住民や県内外の人々に、海岸防災林の効果や役割、再生の意義、重要性について理解を深めていただき、多様な主体による海岸防災林造成に対する支援の意識醸成を図るため、相馬市民会館多目的ホールにおいて、約130名の参加者を対象に海岸防災林再生セミナーを開催しました。



坂本氏による講演

講師の国立研究開発法人 森林総合研究所 東北支所 地域研究監 坂本知己氏

に、「海岸林の再生に向けて」という演題でご講演いただきました。

特に講師の「津波に対して強く効果的な海岸林にするために大径木を密に増やすことはできない。樹高、幹の太さ、樹木の密度は相互に関係するため、そのような都合のよい林はできない。マツ材線虫病の対策、適切な本数調整によって健全な林を造ることが基本になる。海岸林は植えるだけではなく、その後も長い付き合いが必要である。」とのことばが印象に残りました。



全体の様子（現地見学会）



中澤署長による説明



説明を聞きながら植栽状況を確認する参加者



クロマツ植栽地の様子

海岸防災林再生セミナー終了後、60名の現地見学会参加者は、当協会が用意した借上げバスで相馬市磯部字大洲国有林に移動し、磐城森林管理署の中澤文彦署長から、国有林における海岸防災林復旧工事の概要と、関東森林管理局が平成26年度に公募したクロマツ植栽地と今後の植栽計画についての概要説明を受けました。今後多くのボランティア団体等が公募に応募してくれることを期待しています。